

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P108～117参照		
小学部【音楽】目標		
表現及び鑑賞の活動を通して、音楽的な見方・考え方を働かせ、生活の中の音や音楽に興味や関心をもって関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
(1) 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、感じたことを音楽表現するために必要な技能を身に付けるようにする。	(2) 感じたことを表現することや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら、音や音楽の楽しさを味わって聴くことができるようにする。	(3) 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じるとともに、身の回りの様々な音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う。
【1段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。	イ 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。
【2段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。
【3段階】		
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等
ア 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。

■ 特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29)に示される各教科の「目標」に照らして、その「内容」の習得状況を記入する。

○:学習した内容 ◎:学習した内容をおおむね習得している

* まだ学習していない内容については、空欄にする。

* 小学部3段階の内容を習得し、一部、小学校学習指導要領の内容を発展的に取り扱っている場合は、別紙様式に記入する。

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P108～117参照							
小学部【音楽】 1段階							
目標							
知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等					
ア 音や音楽に注意を向けて気付くとともに、関心を向け、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりにつながる技能を身に付けるようにする。	イ 音楽的な表現を楽しむことや、音や音楽に気付きながら関心や興味をもって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に気付いて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じるとともに、音楽経験を生かして生活を楽しいものにしようとする態度を養う。					
内容		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
A 表現	ア 音楽遊びの活動 (ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりに表そうとすること。 (イ) 表現する音や音楽に気付くこと。 (ウ) 思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑨までの技能を身に付けること。 ⑦ 音や音楽を感じて体を動かす技能 ⑧ 音や音楽を感じて楽器の音を出す技能 ⑨ 音や音楽を感じて声を出す技能						
	B 鑑賞 (ア) 音や音楽遊びについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、音や音楽を聴いて、自分なりの楽しさを見つけようとする こと。 (イ) 聴こえてくる音や音楽に気付くこと。						
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。 イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。						

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P108～117参照

小学部【音楽】 2段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等					
ア 曲名や曲想と簡単な音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現を工夫することや、表現することを通じて、音や音楽に興味をもって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に関わり、教師と一緒に音楽活動をする楽しさに興味をもちながら、音楽経験を生かして生活を明るく楽しいものにしようとする態度を養う。					
内容		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、好きな歌ややさしい旋律の一部分を自分なりに歌いたいという思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 曲の特徴的なリズムと旋律 ⑧ 曲名や歌詞に使われている特徴的な言葉 (ウ)思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 範唱を聴いて、曲の一部分を模唱する技能 ⑧ 自分の歌声に注意を向けて歌う技能 ⑨ 教師や友達と一緒に歌う技能						
	イ 器楽の活動 (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、身近な打楽器などに親しみ音を出そうとする思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 拍や曲の特徴的なリズム ⑧ 楽器の音色の違い (ウ)思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 範奏を聴き、模倣をして演奏する技能 ⑧ 身近な打楽器を演奏する技能 ⑨ 教師や友達と一緒に演奏する技能						
	ウ 音楽づくりの活動 (ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付くこと。 ⑧ 音や音楽で表現することについて思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに触れて気付くこと。 ⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴 ⑧ 音のつなげ方の特徴 (ウ)気付きを生かした表現や思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 音を選んだりつなげたりして、表現する技能 ⑧ 教師や友達と一緒に簡単な音や音楽をつくる技能						
	エ 身体表現の活動 (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムの特徴を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 拍や曲の特徴的なリズム ⑧ 曲名と動きとの関わり (ウ)思いに合った動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見て模倣したり、拍や特徴的なリズムを意識したりして手足や身体全体を動かす技能 ⑧ 音や音楽を聴いて、手足や身体全体を自然に動かす技能 ⑨ 教師や友達と一緒に体を動かす技能						
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、身近な人の演奏を見たり、体の動きで表したりしながら聴くこと。 (イ)身近な人の演奏に触れて、好きな音色や楽器の音を見付けること。						
[共通事項]	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。 イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。						

【学びの履歴】各教科

特別支援学校小学部・中学部学習指導要領(H29) P108～117参照

小学部【音楽】 3段階

目標

知識及び技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力・人間性等					
ア 曲名や曲想と音楽のつくりについて気付くとともに、音楽表現を楽しむために必要な身体表現、器楽、歌唱、音楽づくりの技能を身に付けるようにする。	イ 音楽表現に対する思いをもつことや、曲や演奏の楽しさを見いだしながら音楽を味わって聴くことができるようにする。	ウ 音や音楽に楽しく関わり、協働して音楽活動をする楽しさを感じながら、身の回りの様々な音楽に興味をもつとともに、音楽経験を生かして生活を明るく潤いのあるものにしようとする態度を養う。					
内容		1学年	2学年	3学年	4学年	5学年	6学年
A 表現	ア 歌唱の活動 (ア)歌唱表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、歌唱表現に対する思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ 曲の雰囲気と曲の速さや強弱との関わり ⑧ 曲名や歌詞に使われている言葉から受けるイメージと曲の雰囲気との関わり (ウ)思いに合った歌い方で歌うために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 範唱を聴いて歌ったり、歌詞やリズムを意識して歌ったりする技能 ⑧ 自分の歌声の大きさや発音などに気を付けて歌う技能 ⑨ 教師や友達と一緒に声を合わせて歌う技能						
	イ 器楽の活動 (ア)器楽表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、器楽表現に対する思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について気付くこと。 ⑦ リズム、速度や強弱の違い ⑧ 演奏の仕方による楽器の音色の違い (ウ)思いに合った表現をするために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 簡単な楽譜などを見てリズム演奏などをする技能 ⑧ 身近な打楽器や旋律楽器を使って演奏する技能 ⑨ 教師や友達の楽器の音を聴いて演奏する技能						
	ウ 音楽づくりの活動 (ア)音楽づくりについての知識や技能を得たり生かしたりしながら、次の⑦及び⑧をできるようにすること。 ⑦ 音遊びを通して、音の面白さに気付いたり、音楽づくりの発想を得たりすること。 ⑧ どのように音を音楽にしていかにについて思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧について、それらが生み出す面白さなどに関わって気付くこと。 ⑦ 声や身の回りの様々な音の特徴 ⑧ 簡単なリズム・パターンの特徴 (ウ)気付きや発想を生かした表現や、思いに合った表現をするために必要な次の⑦及び⑧の技能を身に付けること。 ⑦ 音を選んだりつなげたりして表現する技能 ⑧ 教師や友達と一緒に音楽の仕組みを用いて、簡単な音楽をつくる技能						
	エ 身体表現の活動 (ア)身体表現についての知識や技能を得たり生かしたりしながら、簡単なリズムや旋律の特徴、歌詞を感じ取り、体を動かすことについて思いをもつこと。 (イ)次の⑦及び⑧の関わりについて気付くこと。 ⑦ 曲のリズム、速度、旋律 ⑧ 曲名、拍やリズムを表す言葉やかけ声、歌詞の一部 (ウ)思いに合った体の動きで表現するために必要な次の⑦から⑧までの技能を身に付けること。 ⑦ 示範を見たり、拍やリズム、旋律を意識したりして、身体表現をする技能 ⑧ 音や音楽を聴いて、様々な体の動きで表現する技能 ⑨ 教師や友達と一緒に体を使って表現する技能						
B 鑑賞	ア 鑑賞の活動 (ア)鑑賞についての知識を得たり生かしたりしながら、曲や演奏の楽しさを見だして聴くこと。 (イ)曲名や楽器の音色、リズムや速度、旋律の特徴に気付くこと。						
	(1) 「A表現」及び「B鑑賞」 ア 音楽を形づくっている要素を聴き取り、それらの働きが生み出すよさや面白さ、美しさを感じ取りながら、聴き取ったことと感じとったこととの関わりについて考えること。 イ 絵譜や色を用いた音符、休符、記号や用語について、音楽における働きと関わらせて、その意味に触れること。						
[共通事項]							